

## 保健医療計画地域編（胆江保健医療圏）に係る用語集

※岩手県保健医療計画の用語解説等を参考

**A E D**

自動体外式除細動器のことで、心臓の心室細動の際に電気ショックを与え（電氣的除細動）、心臓の働きを戻すことを試みる医療機器。

**回復期リハビリテーション**

症状が悪化し、急な病変などが考えにくい段階まで回復された患者に行うリハビリテーションのこと。

**緩和ケア**

痛みの緩和や、不安などの心理的・精神的苦痛および社会的問題を取り除くことを目的に、患者の自由と尊厳を重視して行われる援助。

**傾聴ボランティア**

苦しみや悩みをじっくり聴いて共感し、ありのままを受け入れるボランティア。相手の心を癒し、孤独や不安を軽減させる手助けをする。

**ゲートキーパー**

自殺の危険を示すサインに気づき、適応な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることができる人のこと。

**広域災害救急医療情報システム（EMIS）**

災害時に都道府県を越えて災害医療情報をインターネット上で共有し、被災地域での適切な医療・救護にかかわる情報を集約・提供する、厚生労働省が運営しているシステム。

**災害医療コーディネーター**

大規模災害が発生した際に、適切な医療体制の構築を助言したり、医療機関への傷病者の受け入れ調整などの業務を行う医師。

**周産期医療**

周産期（妊娠満 22 週から生後満 7 日未満まで）を含むその前後の期間は、母子ともに異常が生じやすく、突発的な緊急事態に備える必要があるため、妊娠、出産から新生児期に至るまで総合的に管理し、母子の健康を守るため産科医、小児科医、その他医療スタッフが連携して対応する医療。

**初期救急（医療機関）**

軽いけが、かぜ、子供の軽症の熱発患者など入院の必要がなく、休日・夜間の時間外に自力により受診可能な比較的軽症患者（初期救急患者（一次救急患者））を診察するとともに、手術や入院治療を要する重症救急患者を、二次あるいは三次救急医療施設へ診療依頼する役割を担う。

**スクリーニング**

健康な人も含めた集団から、目的とする疾患に関する発症者や発症が予測される人を選別する医学的手法。

## **精神科救急情報センター**

精神疾患を有する方やそのご家族などからの緊急的な精神医療相談を電話にて受付け、適切な助言を行い、必要に応じて医療機関の紹介を行う。電話番号は「019-624-6791」

## **地域包括ケア病棟（病床）**

急性期治療を経過し、病状が安定した患者さんに対して、在宅や介護施設への復帰支援に向けた医療や支援を行う病棟（病床）です。

## **地域連携クリティカルパス**

急性期病院から回復期病院を経て早期に自宅に帰れるような診療計画を作成し、患者が治療を受ける全ての医療機関で共有しているもの。診療にあたる複数の医療機関が、役割分担を含め、あらかじめ診療内容を患者に提示・説明することにより、患者が安心して医療を受けることができます。

## **適正受診**

いわゆるコンビニ受診により、重症患者への対応が遅れたり、医療スタッフの負担が増大すること等を避けるため、①かかりつけ医を持つこと、②診療時間内に受診すること、③休日・夜間の受診は当番医を利用すること、④こども救急相談電話を利用すること等。

## **特定健康診査、特定保健指導**

医療保険に加入する 40 から 74 歳の被保険者及び被扶養者に対し、メタボリックシンドロームを早期に発見するための特定健康診査を行い、検診結果におけるリスクの保有状況に応じた生活習慣改善等のため特定保健指導を実施するもの。

## **二次救急医療機関**

初期救急医療施設及び救急患者の搬送機関との円滑な連携体制のもとに、入院治療を必要とする重症救急患者へ医療を提供する機関。

## **二次救急医療輪番体制**

二次救急体制の継続的な確保のため、予め二次救急担当医療機関を決めて救急患者を受け入れる体制のこと。

## **慢性合併症（糖尿病）**

神経障害、網膜症、腎症などの細小血管障害と、心筋梗塞や脳卒中などの動脈硬化性疾患に分類される。

## **メディカルコントロール体制**

病院前救護にかかる消防機関と医療機関の連絡調整、業務マニュアル等の作成並びに救急救命士の資質向上のための研修機会の確保に関する支援等を行う体制

## **夜間こども救急電話相談**

夜間や休日に子どもが発熱などで具合が悪くなった時、経験豊富な看護師がアドバイスしてくれる電話相談。電話番号は「019-605-9000」または局番なしの「#8000」